

報道関係者 各位

令和4年9月20日  
 (照会先)  
 全国健康保険協会山形支部  
 企画総務グループ 高橋 (巧)  
 電話：023-629-7226

## 「喫煙率」減少傾向だが、男性は依然全国平均を上回る

厚生労働省では、国民健康づくり運動プランである「健康日本21（第二次）」や「がん対策推進基本計画」において、「喫煙率の減少」を指標の1つに設定しています。

また、生活習慣病の特性や運動・食事・禁煙など個人の生活習慣の改善の重要性について一人ひとりの理解を深め、さらにその健康づくりの実践を促進するため、令和4年9月1日から9月30日までを「健康増進普及月間」と定めています。

タバコの煙は、肺がんをはじめとする多くのがんや、COPD（慢性閉塞性肺疾患）、脳卒中、冠動脈（心臓）疾患、歯周病、胃潰瘍等の様々な病気を引き起こします。また、そのリスクは喫煙者のみならず、周りにいる人にも及びます。

2020年4月1日には健康増進法が全面施行されたことで、より禁煙を求める声は高まっており、全国的に喫煙者の割合は減少しております。

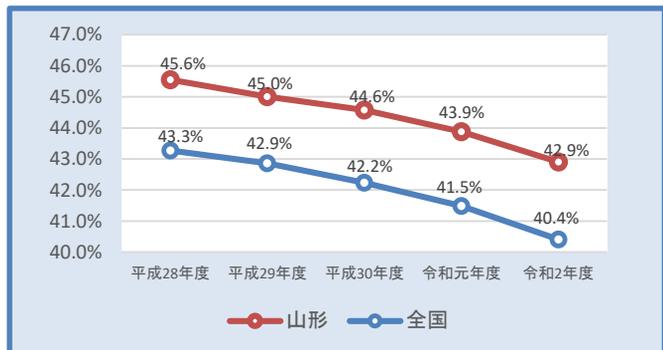
そのような背景のもと、このたび、令和2年度における山形支部の喫煙率についての調査結果がまとまりましたので公表いたします。（協会けんぽの35歳以上の加入者で、健診を受けた際の生活習慣を尋ねる問診票データの回答をもとに算出）

令和2年度における山形支部の男性の喫煙率は協会けんぽの全国平均より2.5ポイント高い42.9%（喫煙率が高い順で全国第14位）、女性の喫煙率は全国平均より0.8ポイント低い14.2%（全国第23位）という結果となりました。

平成28年度以降の経年推移をみると、協会けんぽ山形支部加入者の喫煙率は男性・女性共に減少傾向にあり、全国とほぼ同様の動きをみせています。

しかし、平成28年度と令和2年度を比較すると、男性の喫煙率の減少幅は△2.7ポイントと全国平均（△2.9ポイント）を下回っており、女性においても喫煙率の減少幅は△1.3ポイントと全国平均（△1.8ポイント）を下回りました。

### 【男性】



### 【女性】

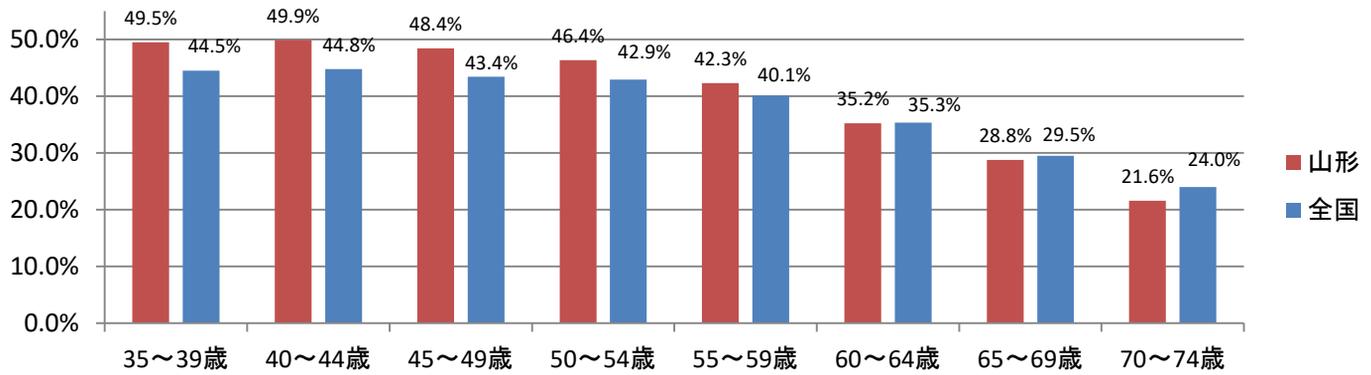


## 1. 協会けんぽ山形支部における男性の年齢階級別喫煙割合

男性の年齢階級別喫煙者割合をみると、35～39歳は全国平均より5.0ポイント高い49.5%、40～44歳は全国平均より5.1ポイント高い49.9%と、調査対象の中では年齢が若い方の喫煙率が非常に高い結果となりました。

また、例年同様に30～50代の喫煙率が高い一方で、65～74歳の「高齢者世代」は、全国平均よりも低い割合であることがわかりました。

男性の年齢階級別喫煙者割合(%)



	35～39歳	40～44歳	45～49歳	50～54歳	55～59歳	60～64歳	65～69歳	70～74歳	全体
山形	<b>49.5%</b>	<b>49.9%</b>	<b>48.4%</b>	<b>46.4%</b>	<b>42.3%</b>	35.2%	28.8%	21.6%	42.9%
全国	44.5%	44.8%	43.4%	42.9%	40.1%	35.3%	29.5%	24.0%	40.4%
山形と全国との差	5.0%	5.1%	5.0%	3.5%	2.2%	-0.1%	-0.7%	-2.4%	2.5%

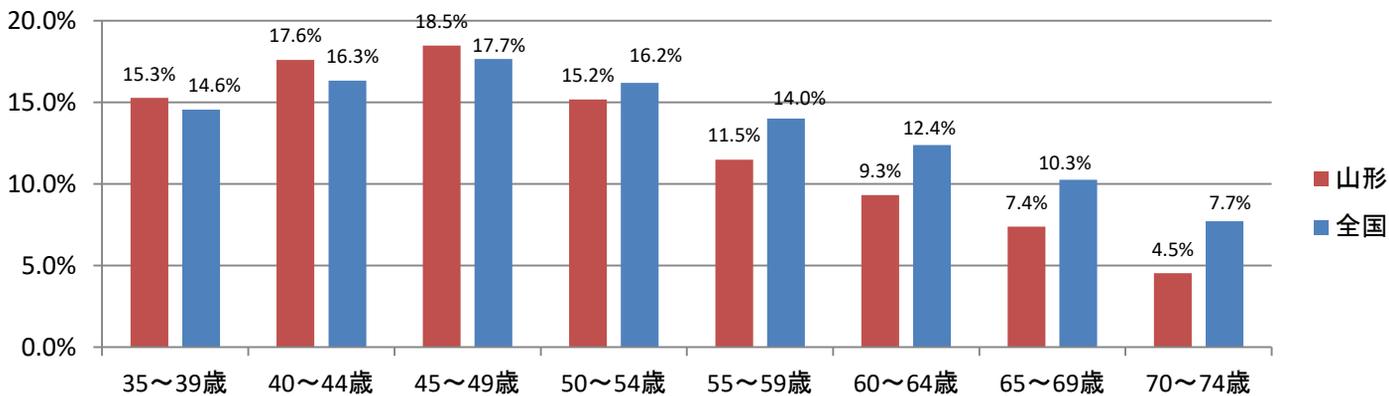
(参考)

	35～39歳	40～44歳	45～49歳	50～54歳	55～59歳	60～64歳	65～69歳	70～74歳	全体
山形 (喫煙者/全体)	5,176人 / 10,460人	6,752人 / 13,526人	6,827人 / 14,099人	5,546人 / 11,960人	5,012人 / 11,852人	4,373人 / 12,413人	2,183人 / 7,589人	717人 / 3,322人	36,586人 / 85,221人
全国 (喫煙者/全体)	332,099人 / 745,908人	438,880人 / 979,916人	501,619人 / 1,154,597人	410,181人 / 955,968人	326,735人 / 813,862人	257,971人 / 730,288人	143,904人 / 487,907人	58,691人 / 244,670人	2,470,080人 / 6,113,116人

## 2. 協会けんぽ山形支部における女性の年齢階級別喫煙割合

協会けんぽ山形支部加入の女性の喫煙率については、全国平均よりも低く推移していますが、年齢階級別にみると、40～44歳は全国平均より1.3ポイント高い17.6%、45～49歳が0.8ポイント高い18.5%となっています。男性の結果と同様に、特に40代の喫煙率が高いことがわかります。

女性の年齢階級別喫煙者割合(%)



	35～39歳	40～44歳	45～49歳	50～54歳	55～59歳	60～64歳	65～69歳	70～74歳	全体
山形	15.3%	17.6%	18.5%	15.2%	11.5%	9.3%	7.4%	4.5%	14.2%
全国	14.6%	16.3%	17.7%	16.2%	14.0%	12.4%	10.3%	7.7%	15.0%
山形と全国との差	0.7%	1.3%	0.8%	-1.0%	-2.5%	-3.1%	-2.9%	-3.2%	-0.8%

(参考)

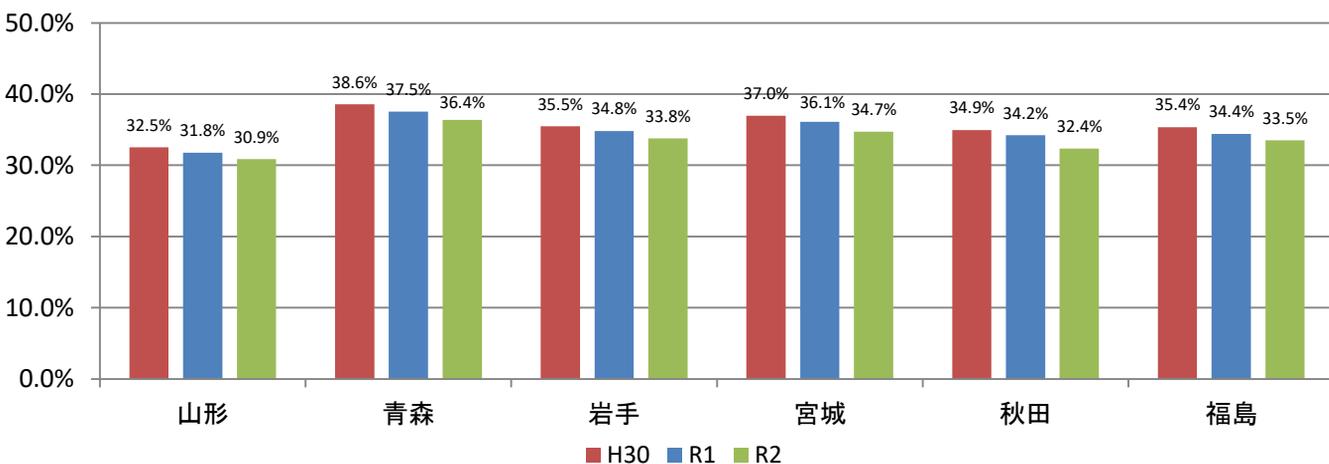
	35～39歳	40～44歳	45～49歳	50～54歳	55～59歳	60～64歳	65～69歳	70～74歳	全体
山形 (喫煙者/全体)	1,187人 /7,773人	1,816人 /10,319人	2,050人 /11,089人	1,527人 /10,063人	1,159人 /10,082人	746人 /7,995人	243人 /3,293人	49人 /1,081人	8,777人 /61,695人
全国 (喫煙者/全体)	64,302人 /441,598人	100,562人 /615,361人	137,104人 /775,965人	114,858人 /708,946人	86,010人 /613,555人	55,973人 /451,567人	22,374人 /217,994人	7,218人 /93,520人	588,401人 /3,918,506人

### 3. 東北各県との喫煙割合比較

協会けんぽ山形支部加入の男女全体の喫煙率については、東北各県と比較すると低く推移しています。平成30年以降の経年推移をみると、各県とも全国と同様の動きとなっています。

山形支部は東北各県より喫煙率は低く推移しているものの、全国平均よりは高い結果となりました。

東北各県(全体)の年度別喫煙者割合(%)



	R2								
山形	30.9%								
青森	36.4%	岩手	33.8%	宮城	34.7%	秋田	32.4%	福島	33.5%
山形と青森との差	-5.5%	山形と岩手との差	-2.9%	山形と宮城との差	-3.8%	山形と秋田との差	-1.5%	山形と福島との差	-2.6%

(参考)

	平成30年度	令和1年度	令和2年度
山形(喫煙者/全体)	40,756人 /125,226人	41,539人 /130,717人	45,363人 /146,916人
青森(喫煙者/全体)	39,970人 /103,677人	40,993人 /109,188人	46,431人 /127,603人
岩手(喫煙者/全体)	31,941人 /90,048人	34,090人 /97,930人	41,897人 /124,074人
宮城(喫煙者/全体)	67,379人 /182,298人	69,523人 /192,543人	76,112人 /219,125人
秋田(喫煙者/全体)	24,405人 /69,859人	24,749人 /72,320人	31,280人 /96,683人
福島(喫煙者/全体)	54,917人 /155,284人	56,067人 /162,927人	60,482人 /180,506人

#### 4. 協会けんぽ山形支部のサポート

今年4月より民法改正に伴い成人年齢が18歳に引き下げられましたが、喫煙については健康面への影響が大きいなどの理由から20歳制限が維持されています。

「健康増進法の一部を改正する法律」の施行や、山形県受動喫煙防止条例、また各市町村における受動喫煙防止条例（例えば、山形市における「山形市子どもの受動喫煙防止条例」）等の望まない受動喫煙をなくすための取組み強化や、やまがた健康企業宣言に登録いただいている事業所様においても健康づくりの推進として禁煙対策に取り組んでいる等、禁煙を求める風潮は年々高まっております。山形支部加入者においては、様々な取組みにより減少傾向ではありますが、未だ高い喫煙率を示しております。

協会けんぽ山形支部では、事業所及び個人で行う分煙・禁煙に向けた取組みをサポートするため、健康企業宣言にご登録いただいている事業所を訪問して行うセミナーや喫煙による健康リスクを正しく知っていただくため、当支部所属の保健師・管理栄養士による禁煙も含めた生活習慣改善のためのアドバイスを行っており、今後も引き続き事業所・加入者の禁煙を支援してまいります。

つきましては、協会けんぽ山形支部における喫煙割合や取組等について、是非、各種報道等で取り扱っていただきますよう、よろしくお願いいたします。